

Watching

ゆめっせフェスタ2009

男女共同参画社会の実現を目指して

6月20日、青少年文化ホールで「ゆめっせフェスタ2009」が開催され、約400人が訪れました。

講師に^{ひろおかもりほ}広岡守穂さん（中央大学法学部教授）を迎え、演題は「妻が僕を変えた日」。広岡さんは、5人の子を持つ父親。

妻が子育てをしながら語学や経理を学ぼうとする姿に「また3日坊主が始まった」と言った何気ない一言に、妻が泣き出した姿を見て、自分の過ちに気付く。妻が「子育てに打ち込むあまり、『自分育ち』に不安を持っていることにその時はじめて気がついた」と『自分育ち』の大切さを強調。

最後に「夫婦は、水平の高さで手をつなぎ、お互いが認め合い、支えていける社会が理想です」と締めくくりました。



▲笑いを交えながら熱心に語る広岡さん



▲伊藤市長と握手する勝井将喜さん

福智高校が善行団体表彰受賞

毎日の積み重ね

第30回少年非行防止大会（6月5日、福岡市開催）で、善行表彰を受賞した福智高校が、6月24日市役所を訪れ、伊藤信勝市長に受賞を報告しました。

福智高校は、数十年前からJR伊田駅前で、同校デザイン課が作成した標語つきのティッシュを配りながら、乗車マナーの向上を呼びかけるあいさつ運動を実施。2ヶ月に1回は、生徒50人から100人が、同校周辺などの清掃活動を行っています。

代表で報告に訪れた、生徒会書記の^{かついままき}勝井将喜さんは「朝の早起が大変ですが、学校の伝統を守り、地域にも活動を広げていきたい」と目を輝かせていました。

アクロス・レインボーコンサート IN たがわ

やすらぎのひととき

6月25日、「こがねが丘大学・地域ボランティア講座」の一環として、市民会館講堂でアクロス・レインボーコンサートが開催され、約150人が訪れました。

出演したのは、^{さとうひとみ}佐藤仁美さん（バイオリン）、^{やましたのりみち}山下典道さん（ビオラ）、^{たなかよしえ}田中美江さん（ピアノ）の3人。

演奏したのは、「ふるさとの四季」や「川の流れるように」など普段聞き慣れた音楽で、訪れた聴衆は美しい音楽に時間を忘れて、聞き入っていました。

アクロス・レインボーコンサートは、10月10日に開催される公民館まつりのオープニングアトラクションとしても演奏を行う予定です。



▲美しい音楽に魅了される聴衆

わが街



▲真剣に講習に取り組む生徒

金川中学校で救命救急講習会

備えあれば憂いなし

7月1日、金川中学校体育館で3年生を対象に、田川地区消防本部隊員による、救命救急講習会がありました。

この講習会は、夏休みを前に、「もしもの時」に的確な初期手当などが出来るようにと実施。

最初にスライドを用いて救急蘇生法とAED（自動体外式除細動器）についての説明を受けた後、人形を用いた講習。昨年、この講習を受講した卒業生2人が、宗像市の海で溺れた人を見事な連携プレーで救助。

田川地区消防署の長谷川真一ほせがわしんいちさんは「命の大切さを学ぶと同時に、もしもの時は自分しか助けることが出来ないと思って、勇気を持って行動してほしい」と話していました。

少年カヌー教室で川下り

風をきって彦山川をすいすい

6月13日、田川市内の小学3年生から6年生まで27人が、彦山川の番田橋付近から直方市役所前まで約14kmのカヌーでの川下りに挑戦しました。

これは、市が主催する「少年カヌー教室」で、助け合いの心や自然を大切にすることを目的として、毎年実施しているものです。

参加者は、ズボンがびしょぬれになったり、手にまめができたりしながらも懸命にパドルをこいでいました。

昨年に続き参加した森口駿君もりぐちしゅん（後藤寺小5年）は、「途中で腕が痛くなったが、がんばって最後までこぎました。来年も参加したい」と元気よく話していました。



▲一生懸命パドルをこぐ子どもたち



▲鋭いけりの応酬

テコンドー交流大会

気合いを入れてエイッ!

6月28日、田川市総合体育館で14団体111人が参加して、玄武會 OPEN テコンドー交流大会が開催されました。

田川市の選手では、有松輝君ありまつひかる（大浦小2年）が小学2年生の部で準優勝し、「準優勝できてうれしい。週2回の練習はきつけれど、優勝目指してがんばります」と話していました。なお、有松君は、7月18日に行われた福岡県大会で優勝し、九州大会出場が決まりました。

大会実行委員長の井桁徹典さんいげたつとむ（嘉麻市）は、「選手たちは、日本代表の内村剣悟さんうちむらけんご（田川市出身）を目標にがんばっています。彼に続き全国、世界で活躍を」と選手たちの活躍に期待を寄せていました。